

# びがいのトビ ウ



【特集】市民インタビュー

学びと生きがいを

ゆとろぎで循環させたい

ゆとろぎ協働事業運営市民の会

P2

## 3月定例会について

- 審議した主な議案
  - 予算審査 P 4
  - 27年度予算 P 9
  - 議案審議 P 12
  - 提出した意見書 P 13
  - 議決結果一覧 P 13
- 市政について問う
  - 《一般質問》 P 14
- その他の主な活動 P 23

No.106

平成27年  
5月1日発行  
(通巻215号)

# 学びと生きがいを ゆとりぎで循環させたい

## ●ゆとりぎ協働事業運営市民の会「ゆとりぎ市民の会」

「ゆとりぎ市民の会」は  
どのような団体ですか

●山本 ゆとりぎで事業の企画・運営を行っている市民ボランティア組織です。ゆとりぎ開館と同時に結成して10年。会員85人（無償ボランティア28人・有償ボランティア57人）と、展示受付のお手伝いの方等、総勢140人が活動しています。

ゆとりぎでは「文化協会」も活動していますよね

●小林 文化協会はゆとりぎを拠点に、学習の場やサークルなどの活動の発表の場として活動しています。市民の会の役員を文化協会にもお願いするなど、協力して活動しています。市民の会は市民に芸術を「紹介する」役割だと思っております。そして市民を「私もやってみたい」という気にさせ、サーク

ルに入って文化協会に参加してもらえれば…（笑）

●鶴我 ゆとりぎを盛り立てていくという意味ではどちらも同じですよ。

企画した事業で  
印象に残っているのは？

●小林 たくさんありますが、強いて言うなら、「ごとうけい」のペーパークラフト展です。紙工芸と軽く考えていたら、とんでもない。大きなトラやキリン、ペンギンなど、搬入に3日もかかり、展示室がまるで動物園や水族館のようでした。小さな子どもたちが目を丸くして見ていた光景がとても印象に残っています。

●井上 私は、ゆとりぎ開館イベントの「第九」ですね。オペラ歌手を招いて、市民から募集した合唱団と一緒に歌うコンサートを大

ホールでやったんです。

●鶴我 私も「第九」です。半年くらいかけて準備したので印象に残っています。自分が編み物が好きなので、開館の時は「ニットの貴公子」広瀬光治さんをお呼びしたイベントも企画しました。桜の頃、皆さんにとっても喜んでいただけたことが嬉しかったですね。

市民の会に入ったきっかけは？

●小林 7年前に羽村に越してきたのでゆとりぎを見て、どんなことをしているのか興味は持っていました。たまたま、いこいの里の講座で一緒になった仲間が展示部会に入っていて誘われたんです。

●井上 ゆとりぎ開館の準備会の時に声をかけられて、自分の好きな音楽に携われると思って参加しました。自分の企画がホールで実

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そんな方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。第6回は、総務委員会が取材しました。（12月16日）

【表紙の写真】市民の会企画「羽村ゆとりぎ寄席」当日担当の皆さん（27年3月7日撮影）

現できて気を良くして（笑）、今も続けています。

●鶴我 文化協会も、一般市民に向けた講座を2つ受け持っています。市民の会の会合にも出ますが、皆さん本当によくやっていらして、いつも感心しています。

色々な興味深い事業を  
どうやって探すのですか

●小林 テレビや新聞などを参考に、メンバーはいつも面白そうなもの、新しいものにアンテナを張りめぐらしていますね。

●井上 他市の状況も気にしながら、2〜3年先まで考えて情報を集めています。自分たちで実際に公演を見に行くことも。ホール事業は金額も大きいし、近隣で同じような事業があると集客に影響が出るので、企画も慎重になります。



展示室で開催された「ごとうけいペーパークラフト展」。展示室上部の窓から見下ろした風景です。（平成23年11月）



（左から）市民の会事務局長・山本豊さん、副会長・井上寛子さん、文化協会選出の副会長・鶴我佳子さん、会長的小林順一郎さん

### ●ゆとりぎ市民の会

【ゆとりぎ協働事業運営市民の会】

各々の持つ興味・関心・経験・技術を活かし、協力し合って、市民に満足いただける良質の事業を提供することをめざしています。担当事業をやり遂げたときの『達成感』は格別です。ゆとりぎならではの新しい形の生涯学習ボランティア。市民の会は、あなたの参加をお待ちしています。

【問合せ】 羽村市生涯学習センターゆとりぎ市民の会 TEL 042-570-0707

ゆとりぎウェブサイトの  
イベントページも

市民の会で作っているんですか

●山本 情報発信部会で作っています。パソコンの得意な会員が、最高の技術を駆使して一生懸命やっています。熱心なあまり徹夜になってしまふこともあるんです。現在、課題と考えていることはあります。

●小林 我々の活動が市民に見えていないことですね。楽しく活動している姿が見えないと、興味を持つ人も出てきにくい。これからは活動をどう見せていくかが課題だと考えています。

●山本 新しい方に入っていたただくことも必要ですが、現在の会員の方に続けてもらうことも重要で、会員の心のインセンティブも大切にしています。研修などを定期的を実施して、会員さんにも学び喜びを感じながら活動してもらいたいと思っています。

今後の活動を  
どのようにしていきたいですか

●鶴我 なるべく多くの方にゆとりぎに来ていただきたいですね。秋の文化祭なども良いきっかけになると思います。そして、興味あ

### ●インタビューを終えて

羽村市が進めている生涯学習の拠点となる生涯学習センターゆとりぎで事業の企画・運営をされている「ゆとりぎ市民の会」。会員減少や次世代に引き継ぐ等の課題もあるようですが、会員の皆さんは、学び・教え・生きがいを感じることに人づくり・地域づくり・街づくりになるとの熱い想いと誇りを持って、いきいきと活動されていました。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

# 過去最大 218億9000万円

## 平成27年度一般会計予算 前年度比10億1千万円 4.8%の増

羽村駅自由通路の拡幅や羽村堰下橋の耐震補強等工事などの都市基盤整備や防災・減災事業などの普通建設事業費が大きく伸びています。また、4月からスタートした子ども・子育て支援新制度に係る事業費も増加しています。市税は前年度と比較して3億2315万円(3.1%)、地方消費税交付金も5億5959万円(78.5%)の増を見込む一方、この増収などにより、普通交付税については不交付になると見込んでいます。

# 予算審査

### 一般会計等予算審査特別委員会

- ・3月3日(26年度補正予算審査)
- ・3月10日～12日(27年度当初予算審査)

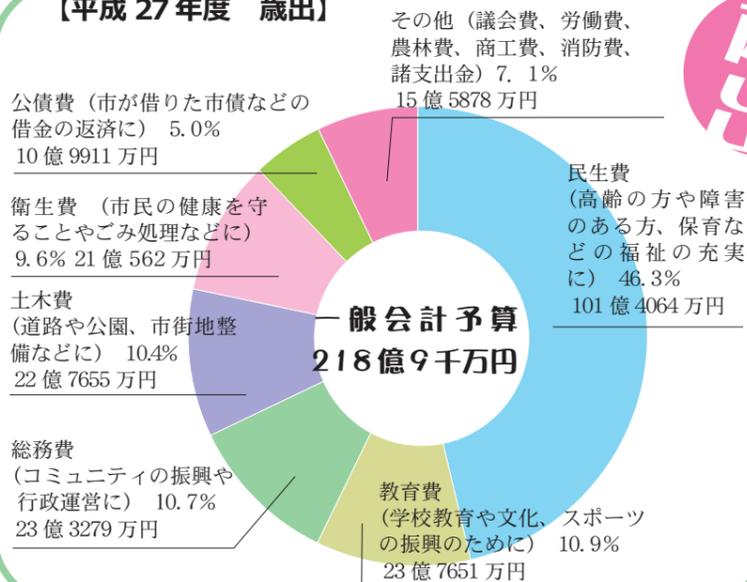
議長を除く17人の委員で構成される「一般会計等予算審査特別委員会」(委員長/小宮國暉議員、副委員長/山崎陽一議員)では、26年度の補正予算と、27年度の当初予算について、慎重な審査を行いました。

その結果、提出された予算案すべてを、原案のとおり可決すべきものと決定しました。この結果は本会議(4日目および最終日)で報告され、すべての予算案が原案のとおり可決されました。



※発言・内容等は要約しています。詳細は会議録でご覧いただけます。  
インターネットでご覧になる場合は「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「平成26年特別委員会」「平成27年特別委員会」

### 【平成27年度 歳出】



## 歳出

**Q** 再編交付金<sup>※</sup>が28年度で率の特例措置の延長などでサポートしている。また、企業活動支援員が出向き、課題に対応している。今後引き続き支援していく。

### ▼財政

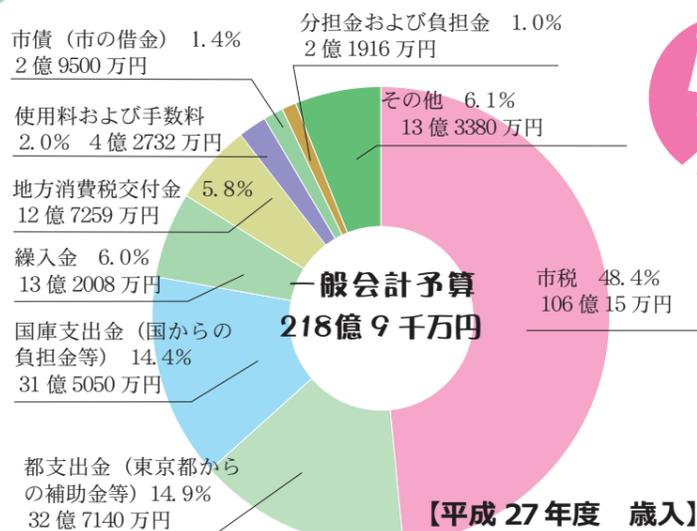
再編交付金<sup>※</sup>が28年度で

## 新年度予算審査

### ●予算Q&A

予算審査では活発な質疑応答が行われました。その一部をお伝えします。

## 歳入



## 歳入

### ▼保育

**Q** 27年度の平均保育料は、他市と比べてどうか。  
**A** 26市では安い方から4番目になる。

### ▼税収

**Q** 市民税法人分が7年ぶりに10億円を超えているが、中小企業も景気は上向しているか。  
**A** 27年1月末現在で、景気の回復基調により中小企業の約37%で法人税割が算出された。その他はまだ低調だが、全体的には業績改善の兆しがある。

**Q** 中小企業への支援体制はどうか。  
**A** 業績が回復しないところには、税制面では軽減税

### ▼羽村の魅力創出

**Q** 羽村市イメージ調査の、対象者と人数、内容をどのように計画しているか。  
**A** インターネットやモニタリング会社を利用して、市外の15歳以上の男女5000人程をランダムに選ぶ。まず「羽村を知っている人」を抽出し、最終的には1000人ほどに絞り込んで、羽村市のイメージなどについての意見を集めたい。

### ▼被災地支援

**Q** 被災地支援策の中に「被災者支援施設使用料」とあるのは何か。  
**A** 被災地の方を対象とした、羽村市や自然休暇村へのツアー事業等を、市民活動団体の方が実施する際の、市の支援策として予算化した。施設使用料30万円は、自然休暇村の使用料を見込んでいます。

### ▼選挙

**Q** 投票率向上の対策は。  
**A** 割り箸袋に選挙PRを印字したり、不在者投票を促進する試み、スペースのある投票所に高齢者向けの休憩コーナーを設ける等の工夫をする。

## 歳出

### ▼公演収入

**Q** ゆとろぎ芸術公演のチケット売上げが前年より大きく増えているが。  
**A** 開館10周年事業のため、事業費をアップしたので、売上げも増やした。

※再編交付金：米軍再編で負担が増える自治体に対し、期間限定で防衛予算から支給される交付金。



西小学校のスクールゾーン



スポーツセンターにある貸出用AED



拡幅工事が予定される羽村駅自由通路

▼生活

生活保護受給者への就労支援事業の状況と今後の目標は。

ハローワークと連携して被保護者に就労支援を行い、自立・収入増を狙う事業。26年度は就労支援により12世帯が生活保護から脱却した。27年度の目標値は、実施計画では9人となっている。

▼環境

ポイ捨て禁止等条例の効果は上がっているか。

環境指導員から月ごとに報告がある。指導件数は月によって増減はあるが、減少傾向にあるので、効果が上がっていると考える。

▼健康

感染症予防に要する経費が3年間同じ金額で中身も変わっていないのだが。

数年前、鳥インフルエンザが中国で流行した際に、

消毒薬やマスクを施設に配置した。現在大きな流行がないので、新型インフルエンザの対策計画や予防接種の計画と合わせ、普及啓発や対策として同様の対応をしている。

▼安全・安心

市役所を災害対策本部として活用するための工事は終了したか。

災害対策本部として会議室4部屋を使用できるよう、電源やインターネット回線も確保し、機能強化を図り、工事は完了した。

貸出用AEDはどう借りるのか、周知はどうしていくか。

現在スポーツセンターに1台あり、新年度予算で1台追加の予定。屋外活動用の貸出備品に含める。施設利用の際や、「はむらの教育」に掲載してお知らせする。

▼子ども・子育て

子ども子育て会議は、27年度はどんなテーマで話し合う予定か。

25・26年度は子ども子育て支援事業計画について意見を伺ってきた。27年度は委員の改選に伴い、新制度や支援事業計画について説明し、委員の意見を聴く必要が生じた場合に開催する。

▼学校・教育

学校給食の食材が値上がりしているが、給食費は据え置きのままか。今後値上げの予定はあるか。

給食費については、審議会の答申を踏まえて、今後検討していく。

通学路に防犯カメラを設置する予定だが、今後増やしていく考えか。

通学路への防犯カメラ設置は、27年度で一区切りつくと考えている。

スクールゾーンについて関係者以外にも知ってもらうため、新学期などに「はむらの教育」で周知しては。

必要と思われるので検討し実施する。

学校図書館相互管理システムのモデル校として27年度に1校を選ぶようだが、どの学校か。

現在調整中である。残りの9校にも、28年度中には設置する予定。

インクルーシブ教育の26年度の実績は。

インクルーシブ教育における新たに配置した人材による成果としては、発達相談員による生徒や幼児の観察を行い、就学相談等につなげることができた。また、インクルーシブ教育コーディネーターによる児童・生徒の観察や、学校への指導・助言、さらに相談員・支援員等の教育研修により、特別支援教育に関わる人材

の資質向上に努めた。27年度もさらに学校でのインクルーシブ教育を推進する。

学校支援地域本部コーディネーターはどんな仕事をするのか。学習コーディネーターとの違いは。

学校支援地域本部コーディネーターは、地域との関係作りに重点を置いている。

27年度は不交付団体に移行する見込みのようだが、7月に不交付が決定したら、27年度予算に影響が出てくるのではないか。

▼財政

不交付団体になると、国の補助金の補助率が下がる場合があるが、影響が出てくるのは28年度以降と見込んでいる。

一般会計予算に対する市民の意見

反対

西口事業への繰出しは3億3615万円に反対

学校や公共施設への太陽光パネル設置、羽村一中のトイレ改修など教育環境の改善や、従来基準での就学援助、保育料負担軽減、広島平和啓発施設見学会など評価できる事業も多い。しかし、羽村駅西口区画整理事業への3億3615万円もの繰出しには反対である。(市民ネットワーク「いきいき広場」)

賛成

今後の自治体経営に対応した内容

6つの重要施策も予算化し、規模は218億9千万円。歳入では市民税法人分が前年度比で3億2千万円の増。必要な基金の繰入れや市債の借入れもされている。今後の自治体経営は自主自立であり、財政基盤整備や公共資産改革、市民福祉向上策が盛り込まれており、賛成する。(新政会市民クラブ)

反対

羽村市の疲弊原因はダブルスタンダード

一定の市民サービス確保は理解する。羽村市の疲弊原因は行政のダブルスタンダード。公共施設等管理計画では30年後の人口4万人台と想定。一方で区画整理基礎調査では将来人口7万人と推計。土地権利者の会へ今後意見調整で協力を求めるとの答弁。圧力団体としての利用であり、断じて認められない。(世論)

賛成

重点施策が具体的に反映されている

重点施策が具体的に反映されている。しかし、地方創生に向けた課題は山積。発想の転換や意識改革、安全・安心で活力ある街づくりのさらなる推進、羽村駅自由通路拡幅事業に関する減免交渉をはじめ、駅の安全性・利便性の向上についてもJR側と協議を進めることを期待し賛成する。(公明党)

反対

西口会計への繰出しは認められない

歳入に交付税をめぐる制度の矛盾などが表れている。認証保育所利用者助成金等、市民ニーズに応えた前進がある一方、羽村駅西口土地区画整理事業会計への繰出金3億3585万円、権利者の会への補助金30万円。評価できる面もあるが、認められない税金の使い方が含まれている。(日本共産党)

賛成

環境、子育て、福祉等の積極的取組みを評価

子ども・子育て新制度、生活困窮者自立支援事業、社会保障・税番号制度に向けた体制構築などが求められる。歳入は市民税に明るい兆しが見え、歳出では、環境、子育て、福祉、ものづくり等に積極的な取組みが見られる。オリンピック開催に向けた環境整備、さらなる行財政改革を求め賛成する。(民主党)